

事業名	所運営費(衛生環境研究所)			調査番号	41
細事業名	評価委員会開催費	財務コード	082903		
担当部課室	福祉保健 部	衛生業務 課	生活衛生 担当 (内線)	3464	

I 事業の概要

実施期間	始期 H14 年度 ~ 終期 年度	
実施主体	県(直営)	
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして
	衛生環境研究所で行う調査研究課題	外部の専門家から評価されることにより、調査研究業務の適正化や効率化が図られている。
結果、何に結びつけるのか	県民生活の安心・安全の確保及び公衆衛生の向上	
内容	試験研究機関が実施する試験・研究課題について、外部の専門家からなる評価委員会において評価することにより、研究機能の向上や研究活動の活性化を図る。 課題評価委員会の開催 ○調査研究計画書、進捗報告書、結果報告書の作成・提出 ○口頭発表、質疑応答、各委員からの評価書集約、委員長総評等 ○評価書を提出 ○評価を踏まえた調査研究の推進・実施	

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度
活動指標	①委員の人数 ②委員会の開催数 ③課題の数	目標	①5人 ②2回 ③3	①5人 ②2回 ③4	①5人 ②2回 ③3	①5人 ②2回 ③4	①5人 ②2回 ③3	①5人 ②2回 ③4
		実績(見込)	①5人 ②2回 ③3	①5人 ②2回 ③4	①5人 ②2回 ③3	①5人 ②2回 ③4	①5人 ②2回 ③3	
		達成率						
		達成区分						
成果指標	調査研究課題の評価(5段階評価の平均値)	目標	4	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
		実績(見込)	4	4.0	4.0	4.0	4.0	
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
		達成区分	b	b	b	b	b	
決算(予算) 単位:千円		207	204	266	209	209	228	227

III 事業の評価(平成30年度の業績評価)

活動指標	b	評価	課題の数が減少したのは、より県民に有用な研究テーマに絞ったため。研究機能の向上や研究活動の活性化を図るための委員会開催は、予定どおり実施できた。
成果指標	b		外部評価委員から調査研究の目的、施策への貢献度、活用性等について5段階の評価を受けることで、適正化・効率化が図られており、意図した成果を上げている。

- ・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
- ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

判断	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い		
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()	
説明	県民生活の安心、安全の確保と公衆衛生の向上を目的としているため。		
有効性(成果向上)	判断	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない	
	説明	外部の委員から評価を得ることで、事業の適正化・効率化が図られ、併せて評価内容の公表により、試験研究活動に対する県民の理解と関心を得られる。	
見直しの余地	判断	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない	
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ()	
その他	説明	これまで必要な改善は図ってきた。	
見直しの必要性	無	課題評価委員会で得た指摘、意見等について所内検討会を開催し、その結果を公表していくことなど見直し、改善を図ってきた。	

V 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明
-------	----

- ・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。